



平成23年10月28日  
四国地方整備局

## 入札監視委員会の審議概要について

四国地方整備局入札監視委員会第二部会は、本年度第2回定例会議を下記のとおり開催しました。

審議内容は、四国地方整備局(港湾空港関係)が平成23年4月から平成23年6月までに発注した工事、建設コンサルタント業務等及び役務・物品の中から委員が無作為に抽出した8件の入札・契約手続に関する事項について審議を行いました。

その審議概要は別添のとおりです。

記

開催日 平成23年10月17日(月)

会場 高松サンポート合同庁舎 13階会議室

### 問い合わせ先

高松市サンポート3番33号 電話 087-851-8061(代表)

四国地方整備局入札監視委員会事務局

技術審査官 河西 博(内線6216)

経理調達課長 小柳 芳秋(内線6311)

品質確保室長 石井 讓治(内線6413)

## 四国地方整備局 入札監視委員会第二部会第2回定例会議 審議概要

開催日及び場所	平成23年10月17日(月) 高松サンポート合同庁舎13階会議室					
委員 (部会委員 3名)	部 会 長 小竹 望(高専教授) 委 員 関谷 利裕(弁護士) 委 員 山田 伊知郎(大学准教授)				敬称略 委員は50音順	
審議 対象期間	平成23年4月1日～平成23年6月30日契約分					
審議案件	総件数 8件(工事2件、建設コンサルタント業務等5件、役務及び物品1件)					
	入札方式	件 名	契約の相手方	契約金額 (千円)	入札 者数	落札率 (%)
工 事	一般競争入札 方式 (政府調達協 定適用対象工 事)	松山港外港地区泊地(-13m)浚 渫工事	若築・あおみ特定 建設工事共同企 業体	636,195	5	87.78
	一般競争入札 方式 (政府調達協 定適用対象外 工事)	坂出港西運河地区係留施設設置 等工事	タチバナ工業(株)	89,775	3	89.07
建設コン サルタン ト業務等	一般競争入札 方式	小松島港湾・空港整備事務所品質 監視等補助業務	小松島港湾・空港整備事 務所品質監視等補助業 務(財)港湾空港建設技術 サービスセンター・ニシキ コンサルタント(株)設計共 同体	68,250	1	99.15
	簡易公募型競 争入札方式	須崎港気象海象情報取得等業務	(財)沿岸技術研 究センター	6,510	1	99.2
	通常指名競争 入札方式	東北沖地震津波に関する解析業 務	中央復建コンサル タンツ(株)	4,778	11	81.69
	簡易公募型プ ロポーザル方 式	来島海峡航路環境調査	(株)エコー	30,870	5	100
	参加者の有無 を確認する公 募手続を行った 契約方式	高知港三里地区防波堤(東第一) 水理模型実験	(独)港湾空港技 術研究所	39,995	1	100
役 務 及び物品	一般競争入札 方式	港湾業務艇「しまかぜ」運航	(株)ポルテック	12,920	1	99.65
報告事項	①指名停止の運用状況 ②談合情報等の対応状況 ③再度入札における一位不動状況 ④低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況					
委員からの意見質問、それに対する回答等			別紙のとおり			
委員会による意見の具申又は勧告の内容			特になし			
備 考						

(注) プロポーザル方式においては、「入札者数」は「技術提案書の提出者数」である。

(注) 役務及び物品における契約金額は、「入札単価」×「予定数量」で算出したものである。

別紙 委員からの意見・質問、それらに対する回答等

1. 抽出案件の審議概要

1. 工事 一般競争入札方式(WTO適用対象工事)

抽出案件	意見・質問	回 答
松山港外港地区泊地(-13m)浚渫工事	<p>・「加算点+施工体制評価点」が最終の評価点数となるのか。</p> <p>・技術提案評価の加算点で、52点の者と38点の者との提案の差はどのようなものか。具体的に説明してほしい。</p> <p>・オーバースペックと思われる技術提案の場合どのように評価するのか。</p>	<p>・各者、問題がなければこれに標準点100点が加算される。</p> <p>・例えば、特定評価項目②では特に差がついており、得点の高い評価として一般航行船舶に対する安全対策の向上では、評価した類似提案の場合でも、相対評価となったケースがあるため、得点差がついたものもある。</p> <p>・オーバースペックと思われるものについては、提案されても評価の対象にしていない。事前に評価しない項目は入札説明書に明記している。履行を妨げるものではないが評価点は与えない。</p>

2. 工事 一般競争入札方式(WTO適用対象外工事)

抽出案件	意見・質問	回 答
坂出港西運河地区係留施設設置等工事	<p>・技術者評価の大きな点差の原因はなにか。</p> <p>・技術者の工事成績の評価での0点は、どういった基準で付けられたのか。</p>	<p>・一番大きかった差は技術者評価の工事成績である。</p> <p>・C社の配置予定技術者は市町村発注工事の同種工事を経験しているが、当局の工事成績の評価基準は国又は四国4県の発注工事を評価対象としており、市町村発注工事は対象となっていないため、0点となっているものである。なお、評価基準は入札説明書にも明記している。</p>

3. 建設コンサルタント業務等 一般競争入札方式

抽出案件	意見・質問	回 答
小松島港湾・空港整備事務所品質監視等補助業務	<p>・今回、1者しか参加がなかったようだが、なにか理由があるのか。</p> <p>・発注者支援技術者とはどういうものなのか。</p>	<p>・理由はよく分からない。昨年は2者参加があり、昨年に比べ応募資格要件を緩和したため、3~5者はあると思った。</p> <p>・発注者支援技術者というのは、我々が技術者に対して、経験や能力等を評価して発注者支援技術者として登録する制度がある。我々が認めた能力のある者ということである。</p>

4. 建設コンサルタント業務等 簡易公募型競争入札方式

抽出案件	意見・質問	回答
須崎港気象海象情報取得等業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入札の1回目、2回目の結果というのはどこに記されているのか。</li> <li>・調査基準価格が0円になるのはなぜか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入札結果登録の下の表に記されている。第1回の札入れで予定価格以上であったが、2回目の札入れで予定価格を下回っている。</li> <li>・業務の場合、1000万円を超える予定価格の場合、低入札の基準となる調査基準価格を設定する。今回、1000万円以内の予定価格なので調査基準価格は設定せず、0円という表記になる。</li> </ul>

5. 建設コンサルタント業務等 通常指名競争入札方式

抽出案件	意見・質問	回答
東北沖地震津波に関する解析業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指名業者選定する際、全く同点で順位付けできない場合は、何者までとか制約があるのか。</li> <li>・これは稀なことなのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・順位付け項目を用いても最後まで同順位の場合は、何者いても指名する。</li> <li>・今まで何回かあったと思うが、多くはない。</li> </ul>

6. 建設コンサルタント業務等 簡易公募型プロポーザル方式

抽出案件	意見・質問	回答
来島海峡航路環境調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡易公募型プロポーザルでは、評価点の高い1位の業者だけ見積りを受け入れ契約するのか。</li> <li>・こういった場合、見積回数というのは予定価格を上回っていたら不調という扱いをするのか。</li> <li>・平成19年度に選定した業者と今回も業者は一緒なのか。</li> <li>・実施方針の項目で20点ついているが、この内容の理解度が高いというのは平成19年度の実績も評価しているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5者に絞り、技術提案を評価してもっとも高い者を特定し、随意契約をする。</li> <li>・あくまでも予定価格の範囲の中で契約することができる。予定価格を下回るまで行う。</li> <li>・平成19年度も今回と同様にプロポーザル方式で、同社が一番得点が高く随意契約をしている。</li> <li>・平成19年度の実績は評価していない。今回の業務に対して評価している。</li> </ul>

7. 建設コンサルタント業務等 参加者の有無を確認する公募手続を行った契約方式

抽出案件	意見・質問	回 答
高知港三里地区防波堤(東第一)水理模型実験	<p>・必要なすべての条件を満たす者が1者しかないと調査の範囲では判断されたが、調査の範囲が充分ではなく、他者が公募に応じるかもしれない。そういう場合はプロポーザル方式に移行するという趣旨か。</p> <p>・応募要件の項目で1/20スケール程度の模型で試験が行えるということだが、1/20スケールは妥当なものなのか。</p> <p>・この契約の場合、契約金額はどのように設定され落札されるのか。</p>	<p>・そういうことである。</p> <p>・なるべくなら1/10、1/5を目指したいが、我々が知る範囲では1/20の水槽が限界である。実験スケールが小さくなくても実際起きている物理現象と模型で起こることが同じであればスケールが小さい模型でもよいということになるが、この現象は若干そうではない部分もあって、可能な限り大きいスケールのほうが確からしい。スケールが大きいほど信頼性も高い。</p> <p>・委託契約となっていて、契約金額自体は業者と協議して契約する形となっている。</p>

8. 物品・役務 一般競争入札方式

抽出案件	意見・質問	回 答
港湾業務艇「しまかぜ」運航	<p>・港湾業務艇「しまかぜ」は国の所有物か。それと運航に係わる燃料代も契約金額に含まれているのか。</p>	<p>・船自体は国の所有物である。燃料代については、契約単価には含まれていない。</p>